

東部 NN 通信

＝ 第 54 号 ＝
令和5年3月30日発行

About—

「東部NN通信」は、石巻地域の農業農村整備事業に関連する活動等を広くお知らせすることを目的に、年3回発行しています。

掲載希望の情報等がありましたら当部農村振興班までご一報ください。

今後ともよろしく申し上げます。

Contents—

「東日本大震災から12年」	1
「鹿又地区」「広淵沼地区」「大川地区」 権利者会議の開催	2
農地集積この1年	3
東部圏域「田んぼダム」研修会、 心土破碎研修会の開催	5
安全管理講習会の実施、多面安全管理の徹底について	6



MIYAGI
150th ANNIVERSARY

宮城県は、1872年（明治5年）2月16日（旧暦1月8日）に成立し、今年で誕生150周年を迎えました。県では今年、県制150周年記念事業を実施しています。

巻頭記事

「東日本大震災から12年」



▲ 執務室にある片目のダルマ

早いもので、東日本大震災から今年の3月11日で丸12年、ちょうど干支が一回りしました。この春、東日本大震災に関係する災害復旧事業と災害関連の復興事業、全ての地区が完了します。

被災地のいまを見てみると、のどかな田園風景の中に春の作付けに向けてトラクターが忙しく動き回り、西風に煽られた砂ぼこりが舞う「いつもの光景」が見られます。12年前の春、そこには津波に流された大量のガレキが折り重なり、農地がどこにあるのかさえもわからない惨状が広がっていました。東日本大震災による石巻管内の農地及

び農業用施設の被害額は、約927億円、記憶にある自然災害では、過去に例のないものとなりました。

12年の歳月を経て事業の完了を迎えることができましたが、この12年間の歩みを振り返ると、それぞれの機関における復興に向けての懸命な努力がありました。また、全国各地から自治法派遣職員として延べ人数で247名の方の支援がありました。それぞれのみなさんの思いがいまにつながっています。

被災地では、震災の津波で住居や農業機械等が流されて農業を続けていくことが難しくなった農家が多数おり、農事組合法人や株式会社等の組織化が進んでいます。石巻管内では、浸水被害を受けた農地で震災後に16の組織が生まれており、そのうち、3組織が100ha以上の農地を経営する大きな組織です。いまは、これらの経営体を中心となって、営農が続けられており、県内一の農地集積・集約が進んだ地域となっています。

最後に、これまで震災の復旧・復興に尽力いただいた全ての機関の皆さんに感謝を申し上げます。また、これからも震災復興への思いを胸に地域の農業を見守っていきます。

東部地方振興事務所 農業農村整備部長 高橋 紀夫

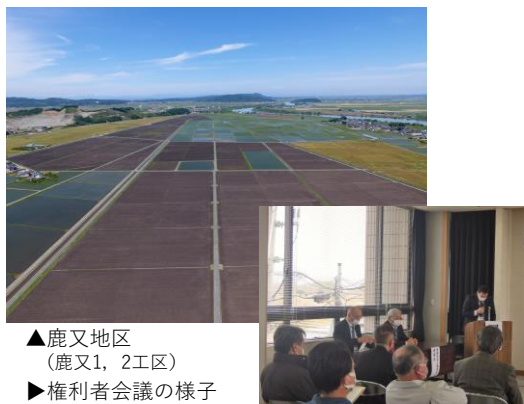


管内3地区で権利者会議を開催しました

令和5年3月、管内の3地区では場整備事業にかかる「権利者会議」を開催しました。

「権利者会議」とは、工事前の土地区画（従前地）を工事後の土地区画（換地）に再編する換地計画を権利者が議決する会議で、全権利者のうち3分の2以上の出席で会議が成立し、議長を除く3分の2以上の賛成で可決されます。

農村地域復興再生基盤総合整備事業「鹿又地区」



▲鹿又地区
（鹿又1, 2工区）
▶権利者会議の様子

3月16日木曜日、河南矢本土改良区にて「鹿又地区」権利者会議を開催しました。本地区は石巻市の旧河南町に位置する、受益面積568.0haの地区で、平成22年度から経営体育成基盤整備事業（面積集積型）では場整備を行い、平成24年度から本事業へと移行しました。

会議では書面議決を含む425名が出席し、議長を除く424名の賛成により換地計画が可決されました。

農村地域復興再生基盤総合整備事業「広淵沼地区」



▲広淵沼地区（4工区）
▶権利者会議の様子

3月23日木曜日、河南矢本土改良区にて「広淵沼地区」権利者会議を開催しました。本地区は石巻市の旧河南町に位置する、受益面積686.1haの地区で、平成22年度から経営体育成基盤整備事業（面積集積型）では場整備を行い、平成24年度から本事業へと移行しました。

会議では書面議決を含む540名が出席し、議長を除く535名の賛成により換地計画が可決されました。

農山漁村地域復興基盤総合整備事業「大川地区」



▲大川地区（長面工区）
▶権利者会議の様子

3月25日土曜日、北上川沿岸土地改良区にて「大川地区」権利者会議を開催しました。本地区は石巻市の旧河北町に位置する、受益面積381.1haの地区で、平成10年度から県営ほ場整備事業（担い手育成型）では場整備を行い、平成23年度から本事業へと移行しました。

会議では書面議決を含む530名が出席し、議長を除く525名の賛成により換地計画が可決されました。

農 地 集 積この **1** 年

令和4年度の農地集積に関わる話題を振り返ります

農用地利用改善団体の設立 相次ぐ（5月）（各農地整備事業実施地区）

▲深谷東地区の設立総会の様子

農用地利用改善団体は、地域の農用地の利用（農地の集積や転作など）について、地域内で話し合いを行う組織です。令和4年は、農地整備事業の実施地区6地区のうち、3地区で農用地利用改善団体が設立されました。

今年度の5月から7月に設立されたのは、西小松、大森、深谷東地区の3地区です。

今回の設立を契機に、農地整備事業の進捗に併せた、農地集積や営農に向けた活動の一層の促進が期待されます。

事例に学ぶ未来の地域農業の姿（7月）（東松島市 下福田・新田地区）

▲施設の整備状況を視察

農業競争力強化農地整備事業の採択を目指す東松島市「下福田・新田地区」の推進協議会で地域で目指す、営農計画の参考とするため、7月26日に現地視察を実施しました。

視察先の美里町の農事組合法人では農地の利用調整の苦労話の他、地下灌漑設備を活用した効率的な転作への取り組みや地元の労働力を活用したスイートコーン栽培の様子など、日ごろ聞けない貴重な話を実際の現場で聞くことができました。

参加者は、農地整備後の自分たちの地域農業のイメージを膨らませていました。

待望の区画整理工事が始まる！（8月）（石巻市 福地地区）

▲工事前の牧草による事前転作（6月14日撮影）

石巻市福地地区は令和2年に農業競争力強化整備事業の採択を受け、全体で37.6haの区画整理工事等の事業を実施する予定になっています。令和4年8月から待望の区画整理工事が始まりました。福地地区では、担い手が3月に牧草の播種を行い、7月に収穫を行うなど工事に備え準備をしてきました。福地地区では、将来的に担い手3名と農業法人1社に地区の農地の69.8%を集積する計画としています。目標達成に向け、地区内で話し合いを重ね集積の面においても一層の事業推進を図っています。

農 地 集 積

この1年

令和4年度の農地集積に関わる話題を振り返ります



広大な大豆畑が出現！（9月）（東松島市 西小松地区）



▲一面に広がる大豆畑（9月14日撮影）

東松島市の西小松地区では、令和元年度に農業競争力強化農地整備事業の採択を受け、全体で132.8haの区画整理工事等が計画されています。そのうち第1期分として、52.1haの区画整理工事が終わり、今年度は、地区の担い手が、大豆の転作を実施しました。7月に記録的な豪雨がありましたが、大きな被害もなく、11月末から12月に大豆の収穫をすることができました。

地区では、工事に合わせ、7月に農用地利用改善組合が設立され、担い手を中心とした地域農業の確立に向けて具体的な動きが進んでいます。

新たな転作作物の定着を目指して・子実用とうもろこしへの挑戦！（10月）



▲とうもろこしの収穫作業

▶収穫されたとうもろこし



子実用とうもろこしの栽培が令和4年度から試験的に石巻市桃生地区で実施され、10月末に収穫作業が行われました。子実用とうもろこしは飼料用とうもろこしの子実部分のみを収穫して、乾燥させた実を家畜用の飼料として利用するものをいい、現在、国際的な穀物価格の高騰により、国内の実需者から国内増産を求める声が高まっています。

これまで東部管内では、東松島市で栽培されてきましたが、現在、県内でも栽培面積が増えている転作作物のひとつです。

桃生地区では、約2haの水田で、実証栽培が取り組まれ、発芽以降の生育経過は順調でしたが、7月の大雨や虫害などの影響で目標とする収量は下回る結果となりました。

農地集積・集約の加速化にむけて・農地集積戦略会議（7月・11月・3月）



▲3月に開催した、戦略会議の様子

令和5年3月3日金曜日に農地集積戦略会議を開催しました。当会議は、農地整備事業を実施している各地区における、農地集積や営農計画等の事業進捗や課題などを情報共有し、各地区の抱える問題等への対策を検討するため、関係機関により年間3回程度開催されるもので、今回が3回目となり今年度最後の開催となりました。

会議では、各地区における令和4年度の農地の集積・集約が順調に進んでいることが報告されるとともに、各地区の担い手による転作の取り組みの対応等の検討が行われました。

東部圏域田んぼダム実証・普及ワーキンググループ 勉強会を開催しました



▲「千刈江地区」（大崎市）

▶ ロート型堰板（調整板）



令和5年1月20日金曜日、大崎市にて管内土地改良区の職員及び部内職員を対象に「田んぼダム」研修会を開催しました。

「田んぼダム」は水田の落水口に調整板等を設置することで、大雨等の際に水田に降った雨水をゆっくり排水し、水路や河川の急激な水位上昇を抑制するもので、実施地域やその下流域の湛水被害リスクを軽減するための取組です。

当日は古川農業試験場と北部地方振興事務所の職員から取組の概要や効果の説明を受け、「ロート型堰板」設置の「千刈江地区」での現地研修を行いました。

また、2月1日水曜日に開催された「福地地区」の地区実行委員会では、当部職員が農村振興課作成の「田んぼダム」模型を使用した実演を行いました。本地区では、「田んぼダム」対応のツースリット型の落水工柵を導入予定です。

「田んぼダム」模型を使用した農村振興課の実証動画は右のQRコードから閲覧できます。ぜひご覧ください。



▲「福地地区」実行委員会での「田んぼダム」模型を用いた説明の様子

心土破碎工法研修会を開催しました



▲研修会の様子

令和5年1月17日火曜日、石巻市の「大川地区長面工区」にて、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門 農地盤情報研究領域 農地整備グループ長補佐 北川 巖氏を講師にお招きし、全層心土破碎機「カットブレーカー」の研修会を開催しました。

「カットブレーカー」はトラクター等に装着し、土中の40～70cmにV字状の切断刃で破碎溝を構築することで心土を破碎します。このことによって、土壌の排水性の改善を図ることができます。なお、本破碎機は多少の石礫のあるほ場でも施工が可能となっています。

当日は、まず北川氏より「カットブレーカー」の概要について説明をいただき、ほ場にて「カットブレーカーmini」の実演も行われました。

本研修会では、県職員その他、「大川地区」の農業者の皆さんにもお集まりいただき、活発な質疑応答が行われ、使用感や効果について確かめることができました。



▲「カットブレーカーmini」

安全管理講習会を開催しました



▲講習会の様子

令和5年3月17日金曜日、宮城県石巻合同庁舎にて、安全管理講習会を開催しました。本講習会は、今年度当部発注の建設事故において2件の労働災害が発生したことを受けて開催したもので、当部発注工事の監理技術者、現場代理人、現場作業員等約80名の出席がありました。

当部の高橋部長より開会のあいさつのち、加藤総括次長から今年度の事故の発生状況等について説明し、事故の原因や対策について情報共有を行いました。

その後、建設業労働災害防止協会宮城県支部の専務理事兼事務局長、齋藤 俊一氏を講師にお招きし「建設工事現場における不安全行動防止に向けて」という題目での講話をいただきました。

講話では、具体的な事故の事例とその発生原因の紹介のち、不安全行動を防止するために、管理監督面の問題がないか把握すること、リスクアセスメントを適切に行うこと、風通しの良い職場環境を整えることなどが重要であると提言を頂戴しました。

当部では今後とも引き続き、建設工事の事故防止に向けた対策を講じていきます。



▲齋藤氏の講話の様子

多面的機能支払交付金

共同作業中の事故にご注意ください



高めよう 地域協働の力！
多面的機能支払交付金
共同活動の安全のしおり
 共同活動前に安全確認を行い、
 事故の発生を防止しましょう

安全確認チェックリスト

<p>作業開始前、作業現場の安全確認を行い、作業開始してください。</p>	<p>作業開始前、作業現場の安全確認を行い、作業開始してください。</p>	<p>作業開始前、作業現場の安全確認を行い、作業開始してください。</p>
<p>作業開始前、作業現場の安全確認を行い、作業開始してください。</p>	<p>作業開始前、作業現場の安全確認を行い、作業開始してください。</p>	<p>作業開始前、作業現場の安全確認を行い、作業開始してください。</p>
<p>作業開始前、作業現場の安全確認を行い、作業開始してください。</p>	<p>作業開始前、作業現場の安全確認を行い、作業開始してください。</p>	<p>作業開始前、作業現場の安全確認を行い、作業開始してください。</p>



◀◀ 「共同活動の安全のしおり」
 (農林水産省作成)
 QRコードから閲覧できます。

多面的機能支払交付金事業における、草刈りや泥上げなどの共同作業中の事故が全国的に発生しています。特に転倒・転落が原因となる事故が多く見られます。

春を迎え、共同活動の機会が増えてくる時期になりますので、作業にあたっては保険へ加入するとともに、農林水産省作成の「共同活動の安全のしおり」を活用し、安全管理の徹底をお願いいたします。

なお、作業中に事故が発生した場合は**速やかに市町村へ事故報告**をしていただくようお願いいたします。



宮城県東部地方振興事務所 農業農村整備部 (編集：農村振興班)

〒986-0850 石巻市あゆみ野五丁目7番地
 (宮城県石巻合同庁舎4階)

Tel 0225(95)1411 (内) 2631
 Fax 0225(96)4880
 E-mail et-ss-nos@pref.miyagi.lg.jp
 URL <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-ns/>



▲部HP